

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和3年5月20日(2021.5.20)

【公開番号】特開2019-187751(P2019-187751A)
 【公開日】令和1年10月31日(2019.10.31)
 【年通号数】公開・登録公報2019-044
 【出願番号】特願2018-83573(P2018-83573)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和3年4月12日(2021.4.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

発射装置により発射された遊技球が案内される遊技領域を備える遊技機において、前記遊技領域を移動する遊技球が入球可能な第1入口部、第2入口部、及び、第3入口部と、前記第2入口部、及び、前記第3入口部に対応して設けられ、開位置と、閉位置との間を変位可能な第2開閉手段、及び、第3開閉手段とを備え、

前記第2入口部は、前記第2開閉手段が前記開位置とされることで、前記第2開閉手段により前記遊技領域を移動する遊技球が前記第2入口部に案内される開状態とされるとともに、前記第2開閉手段が前記閉位置とされることで、前記開状態よりも前記遊技領域を移動する遊技球が前記第2入口部に入球し難くなる閉状態とされ、

前記第3入口部は、前記第3開閉手段が前記開位置とされることで、前記第3開閉手段により前記遊技領域を移動する遊技球が前記第3入口部に案内される開状態とされるとともに、前記第3開閉手段が前記閉位置とされることで、前記開状態よりも前記遊技領域を移動する遊技球が前記第3入口部に入球し難くなる閉状態とされる構成であって、

前記第1入口部に入球した遊技球が案内される第1案内通路は、第1分岐通路と、第2分岐通路とを備え、

前記第1分岐通路を移動する遊技球と機械的に連動し、前記閉位置にある前記第2開閉手段を前記開位置とする第2開放連動手段と、

前記第2分岐通路を移動する遊技球と機械的に連動し、前記閉位置にある前記第3開閉手段を前記開位置とする第3開放連動手段と、

前記第2入口部に入球した遊技球と機械的に連動し、前記開位置にある前記第2開閉手段を前記閉位置とする第2閉鎖連動手段と、

前記第3入口部に入球した遊技球と機械的に連動し、前記開位置にある前記第3開閉手段を前記閉位置とする第3閉鎖連動手段とを備えていることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記遊技機はパチンコ機であることを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

ところで、遊技を進行させる上で、遊技球を始動入球手段等へ入球させる必要があるが、当該入球の具合が偏って全く入球しない状態ができてしまう等の事態の抑制等が望まれている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、上記例示した問題点等を解決するためになされたものであり、その目的は、入球手段への入球を安定させることのできる遊技機を提供することにある。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の遊技機は、
発射装置により発射された遊技球が案内される遊技領域を備える遊技機において、前記遊技領域を移動する遊技球が入球可能な第1入口部、第2入口部、及び、第3入口部と、前記第2入口部、及び、前記第3入口部に対応して設けられ、開位置と、閉位置との間を変位可能な第2開閉手段、及び、第3開閉手段とを備え、

前記第2入口部は、前記第2開閉手段が前記開位置とされることで、前記第2開閉手段により前記遊技領域を移動する遊技球が前記第2入口部に案内される開状態とされるときも、前記第2開閉手段が前記閉位置とされることで、前記開状態よりも前記遊技領域を移動する遊技球が前記第2入口部に入球し難くなる閉状態とされ、

前記第3入口部は、前記第3開閉手段が前記開位置とされることで、前記第3開閉手段により前記遊技領域を移動する遊技球が前記第3入口部に案内される開状態とされるときも、前記第3開閉手段が前記閉位置とされることで、前記開状態よりも前記遊技領域を移動する遊技球が前記第3入口部に入球し難くなる閉状態とされる構成であって、

前記第1入口部に入球した遊技球が案内される第1案内通路は、第1分岐通路と、第2分岐通路とを備え、

前記第1分岐通路を移動する遊技球と機械的に連動し、前記閉位置にある前記第2開閉手段を前記開位置とする第2開放連動手段と、

前記第2分岐通路を移動する遊技球と機械的に連動し、前記閉位置にある前記第3開閉手段を前記開位置とする第3開放連動手段と、

前記第2入口部に入球した遊技球と機械的に連動し、前記開位置にある前記第2開閉手段を前記閉位置とする第2閉鎖連動手段と、

前記第3入口部に入球した遊技球と機械的に連動し、前記開位置にある前記第3開閉手段を前記閉位置とする第3閉鎖連動手段とを備えていることを特徴としている。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明によれば、入球手段への入球を安定させることができる。